

入園手続きのしおり

2024年度



利用料の仕組みについて
利用の手続きについて
預かり保育について
利用定員
入園児の選考
Q&A

仙台YMCA幼稚園

仙台市青葉区立町9番7号 022-222-7533

◆◇2024年4月から

1. 2歳児の受け入れと全園児への給食提供

を始めます◇◆

幼児教育の無償化について

利用料の仕組みについて

◇毎月の利用料（保育料）

保育料については、1号認定児は満3歳児クラスから、2・3号認定児は3歳児クラスから全額無償となります。

◇毎月のその他の費用

毎月の利用料（保育料）の他に、教材行事費 4,150 円、絵本代 440 円、給食費 5,000 円（1号認定）7,000 円（2号認定）をご負担ください。

◇入園手続き及び入園時の費用

その他に、入園手続きおよび入園時の費用のご負担をお願いしています。具体的な費用は園児募集要項をご覧ください。

- ① 入園申込金：入園を申し込むときの手数料です。
- ② 入園準備手数料：各種書類の作成など入園を準備するための手数料です。
- ③ 施設維持費：光熱水費などの施設を維持するための費用です。

利用の手続きについて

◇支給認定

入園の決定とは別に、保護者の就労状況をもとに、幼稚園を利用するための認定（支給認定）を仙台市より受ける必要があります。

- ① 1号認定の申請は、仙台YMCA幼稚園を通じ仙台市に提出し、後日仙台市から本園を通じて保護者の方に認定証が交付されます。
- ② 2号認定の要件を満たす場合であっても、あらかじめ幼稚園の入園の内定を得るために1号認定を選択することができます。また、4月に1号認定であっても、要件を満たす場合は5月から2号認定への変更を本園を通じ申請することができます。また、新2号認定は4月からの認定を受けることができます。
- ③ 3号認定の申請は区役所になります。

預かり保育について

◇2024年度の利用期間と時間

認定区分に関わらず、仙台YMCA幼稚園の在園児は預かり保育を利用できます。

利用期間 2024年4月1日～2025年3月31日

日曜・祝日・年末年始を除く

利用時間 7時30分～保育開始時間、保育終了後から19時15分

(土曜日は18時30分まで)

休業日は7時30分～19時15分(土曜日は18時30分)

◇1号認定の預かり保育の費用

1時間当たり300円をご負担ください。(おやつ代含む)朝は1回200円です。利用料の月額上限額は15,000円です。

◇2・3号認定の預かり保育の費用

3歳児クラスから全額無償化となりますが、保育標準時間区分のお子さんが18時30分以降利用した場合、また保育短時間区分のお子さんが15時30分以降利用した場合、それぞれ延長保育の扱いになり、別途利用料の負担(保育標準時間利用児は1回200円、保育短時間利用児は1時間300円)が必要になります。

◇新2号認定の預かり保育の費用

1号認定児が保育の必要性の認定を受けた場合(父母等それぞれが月64時間以上就労している場合、出産等)に限り、満3歳になった後の最初の4月1日(年少組)から、利用日数に応じて1日あたり450円(月額11,300円上限)を上限に無償化になります。(満3歳児については、保育の必要性の認定を受けた住民税非課税世帯のお子さんに限り無償化の対象となります)。

利用定員

各学年 1 クラス設置します。1 歳児 10 名、2 歳児 10 名、満 3 歳児 5 名、3 歳児～5 歳児は各クラス 30 名が定員です。

定員に達した時点で受付を締め切りますが、その後入園辞退者が生じる可能性がありますので、欠員が生じた場合に欠員募集します。希望される方はあらかじめ登録してください。

入園児の選考

11 月 1 日（水）より願書の受付を行います。募集要項を必ずお読みください。満 3 歳以上の入園を希望されるお子さんの兄姉が 2024 年度も在園している場合は、そのお子さんを優先して受け付けます。

また、2019 年度より以下の小規模保育園と卒園児の受け入れに関する協定を締結しており、優先入園枠を設けています。

ひよこ保育園	1 名
すまいる保育園	1 名
子どもの家エミール	1 名
コスモス大手町保育園	1 名
ビックママランド支倉園	1 名

当園へ入園を申し込まれる皆さまへ

別添の「重要事項説明書」をご覧ください、すべての事項に同意されることを了承して、入園をお申し込みください。

Q&A : YMCA 幼稚園の保育の考え方について、比較的多い質問を Q&A でまとめました。

Q1 送迎バスはありますか？

幼稚園では保護者の方と保育者のコミュニケーションを大切にしています。直接幼稚園での様子をお伝えしたり、家庭での様子を伺ったりして子どもの望ましい状態を互いに作りたいと考えています。また、子どもたちの住居地域は広く、通園するために長い時間バスに乗ることは必ずしも良い状態ではないと考えています。

Q2 近隣の方が多く通園しているのですか？

近隣の方はもちろんですが、泉区や太白区など様々な地域からも通園しています。

Q3 制服はありますか？

特に指定はありません。季節に対する子どもの適応力は一人ひとり違いますし、服装に対する考え方も違って良いと考えています。清潔で自由にのびのびと動けるような服装が望ましいです。

Q4 衣服の着脱がまだできませんが、大丈夫でしょうか？

大丈夫です。保護者の方と連絡を取りながら、子ども一人ひとりに合わせた援助を教師が行います。幼児期の個人差は意外と大きいものです。それぞれの子どもは、互いに他の子どもから学び、生活する力を身につけます。着替えができるお子さんは自立心が育ち、活動にも意欲的になります。入園までゆっくりでいいのでご家庭で取り組んでいくことをお勧めします。

Q5 親から離れられるかどうか心配です。

初めはどの子どもも不安はあるものです。親から離れることが難しくても、他の子どもと一緒に遊ぶことの楽しさを覚え、幼稚園の中に居場所を見つけると不安は次第に解消されます。また、入園当初の頃はお子さんの様子を見て保護者の方も可能な場合は一緒にいていただく等の協力もお願いしています。

Q6 保育日課は固定されているのですか？

一日の時間割を固定させなければならないと考えていません。毎日の指導計画は、その日の活動の内容を考えて保育日課に変化を持たせています。また、指導計画の時間割りがあるからといって、全ての子どもに強いることはしません。幼児期は遊びの中で生活の習慣を身につけていきますので、子ども一人ひとりの特性を十分に配慮して保育します。

Q7 文字や英語を教えますか？

小学校を先取りした文字や英語を教えることはしません。教えて知識を身に付けることよりも絵を見て想像力をふくらませ、言葉の響きを楽しむことなどの感性が豊かになってほしいと考えています。また、子どもが日常の中で、文字や言葉などを使いながら考えていることを伝える楽しさを体験して、学習することの動機が芽生えることを期待しています。

Q8 自由な時間ばかりで、子どもが小学校に行ってから困りませんか？

自由な時間はけっして放任しているわけではありません。子どもの主体的な遊びを中心とした総合的な保育を行うことをねらいとするものです。むしろ、子どもが自分自身で良いことや悪いことに気づき、ルールのあることを知って守ることができ、友達に対する思いやりや痛みの気持ちがわかるようになることを目指しています。卒園時にはみんなと一緒に話を聞くことができ、活動できるようになり、豊かな人間関係を築き、新しい環境に適応できることが期待できます。このことの実現が、幼稚園から小学校へスムーズに移行することに繋がると考えています。

Q9 朝9時までに登園できるか心配です。

もちろん9時までに登園することは望ましいですが、必要な時にはお子さんの体調、心情を優先させてください。日によっては元気がなかったり、食事が遅くなったりします。何よりも子どもたちが心身共に安定した状態で登園し、穏やかに幼稚園生活を過ごせることを願っています。たとえ9時を過ぎて登園しても、「待っていたよ」とお迎えします。

Q10 好き嫌いがあるので給食が食べられるか心配です。

子どもたちの食事の量は一人ひとり異なります。年齢、体格、その日の食欲や体調、その日のメニューでも違います。その子どもに合わせて、食べる量を調節し、自分でも食べられる量を考え、配膳台から選んで食べるようにしていきます。子どもたちひとり一人に「好き」「嫌い」があります。誰かが食べる姿を見て、「私も食べてみよう」という意欲が出てくる子もいます。「食べられない」＝「ダメ」とならない環境づくりも並行して進めていきます。

また、1か月に2回同じ献立を提供するサイクルメニューを取り入れています。1回目では食べられなかった子どもも2回目は食べられることを期待して取り組んでいます。

アレルギーをお持ちのお子さんにも対応していきます。